

# 高知港港湾計画資料（案）

－ 軽易な変更 －

令和 5年 1月

高知港港湾管理者  
高 知 県



## 目 次

変更理由	1
その他重要事項に関する資料	2
1 港湾及び港湾に隣接する地域の保全	2
環境の保全に関する資料	8
その他の資料	9
1 高知県地方港湾審議会委員名簿	9



## 変 更 理 由

南海トラフ巨大地震等による津波災害から背後地域を防護することを目的に、種崎地区及び桂浜地区において海岸保全基本計画に計画されている津波防波堤について、港湾及び港湾に隣接する地域の保全に重要な関わりを有するため、その他重要事項として港湾及び港湾に隣接する地域の保全に位置付ける。

## その他重要事項に関する資料

### 1 港湾及び港湾に隣接する地域の保全

#### ① 高知港海岸背後の重要性

高知港海岸が位置する高知市は、県全体の約47%の人口が集中しており、特に浦戸湾周辺には、行政機関、学校及び病院等の公共施設が多数立地している。

また、県内需要の9割以上を担う石油基地や製造・造船等の民間企業が多数立地し、県内の経済の中心である。

このため道路、港湾、さらにはJRや路面電車等の交通網も発達しており、当該地域は高知県における行政・産業・交通の要所となっている。

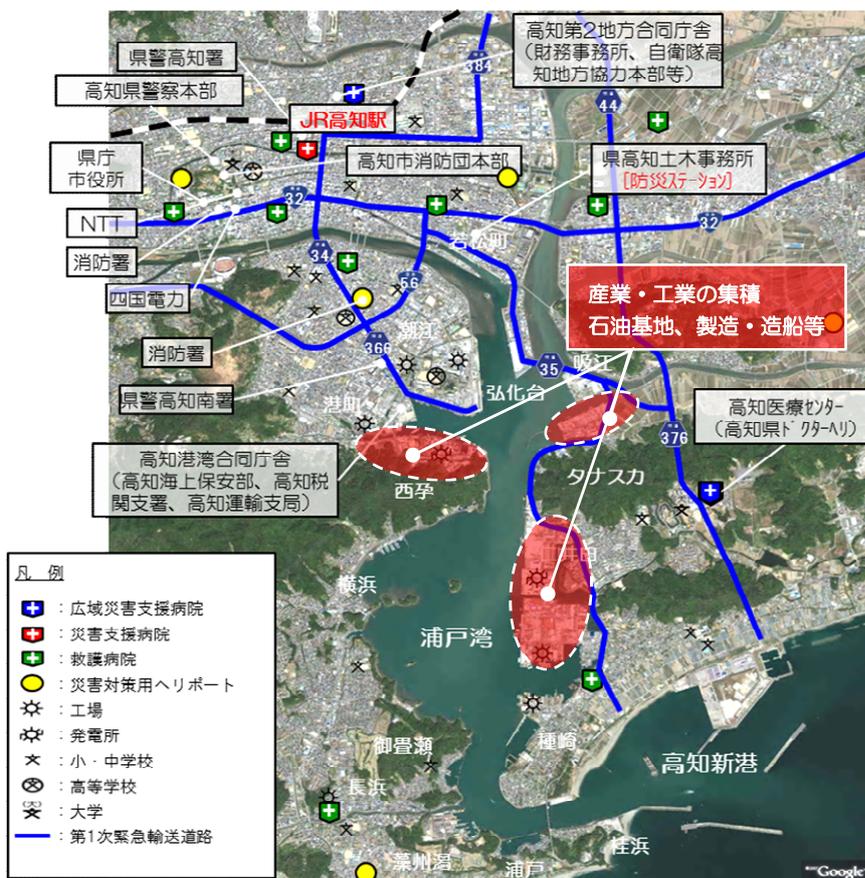


図-1 背後地域における公共施設及び民間企業の分布

## ② 高知港海岸 海岸保全施設整備事業の必要性

浦戸湾背後にはゼロメートル地帯が約 700ha にわたって広がっている。また建設後 40 年以上経過した海岸保全施設が多く、老朽化による防護機能の低下が顕著になっている。南海トラフを震源とする地震が発生した場合、高知市内は 2m 程度の広域地盤沈下が発生するとともに、液状化により防潮堤等の倒壊・沈下が想定される。そのため、その后来襲する津波により、広範囲且つ長期的な浸水被害が予測されている。

表-1 レベル1津波及びレベル2津波における被害想定

被害想定	浸水面積	被害人口	被害戸数	被害資産
レベル1津波	1,445ha	7.1万人	3.7万戸	2.0兆円
レベル2津波	3,300ha	11.9万人	5.5万戸	3.0兆円

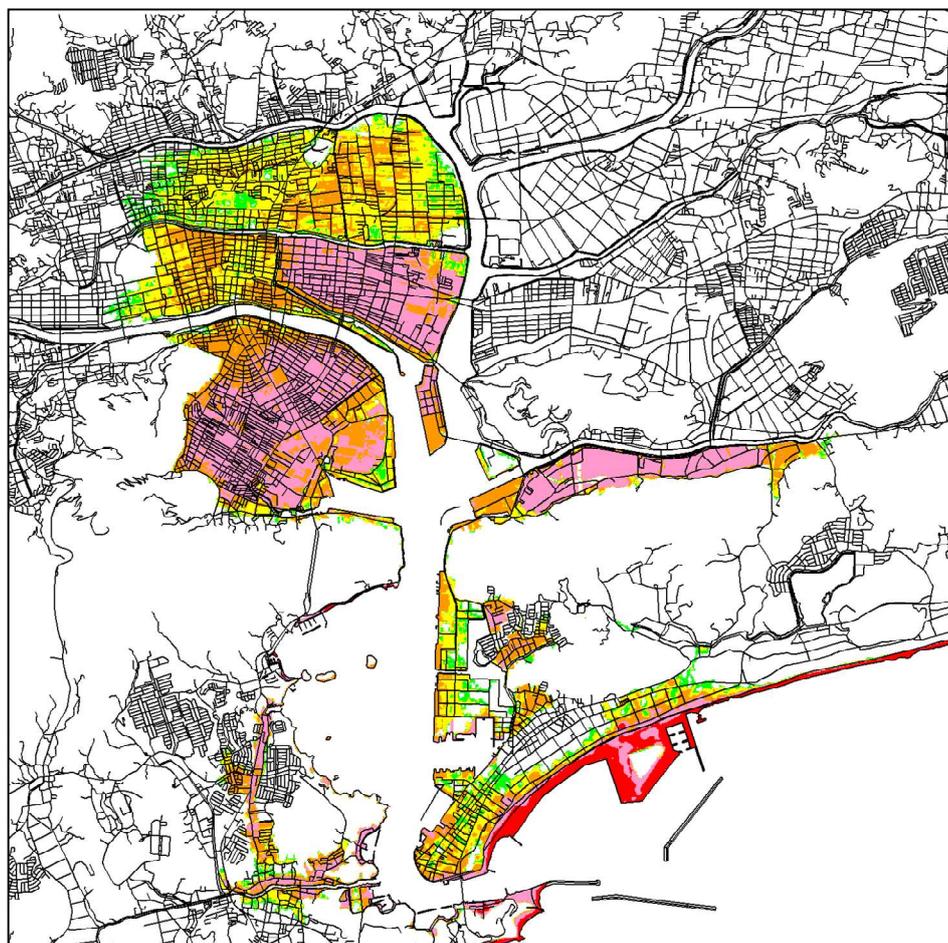


図-2 レベル1津波による浸水範囲（未対策時）

### ③ 高知港海岸における地震・津波対策の緊急性

南海トラフ巨大地震は、今後 30 年以内に 70%～80%（40 年以内に 90%）程度の高い確率で発生が予測されている。また、広域地盤沈下と液状化による海岸保全施設の倒壊に加え、浦戸湾の湾奥部に広がるゼロメートル地帯もあいまって、大規模かつ長期的な浸水被害が発生することが懸念されている。

### ④ 高知港海岸 海岸保全施設整備事業の方針

南海トラフ巨大地震・津波に備えるため、高知港海岸においては、三重防護の方針により海岸保全施設を整備することで、地域の安全・安心を守る。

事業は高知市の中心部が浦戸湾奥部に位置するという地理的特性を踏まえ、以下の 3 ラインでの対策による「三重防護」による対策を進める。

#### 第 1 ライン：第一線防波堤

##### 【効果】

- ・ 津波エネルギーの減衰
- ・ 高知新港の港湾機能の確保

#### 第 2 ライン：湾口地区 津波防波堤、外縁部堤防等

##### 【効果】

- ・ 津波の侵入や北上の防止・低減

#### 第 3 ライン：浦戸湾地区 内部護岸等

##### 【効果】

- ・ 護岸の倒壊や背後地浸水の防止等

発生頻度の高い津波（レベル 1 津波）に対しては堤内地の浸水を防護し、レベル 1 津波を超える津波（最大クラスの津波（レベル 2

津波) を含む) に対しては浸水範囲及び浸水深を減少させるとともに、浸水するまでの時間を遅らせる。

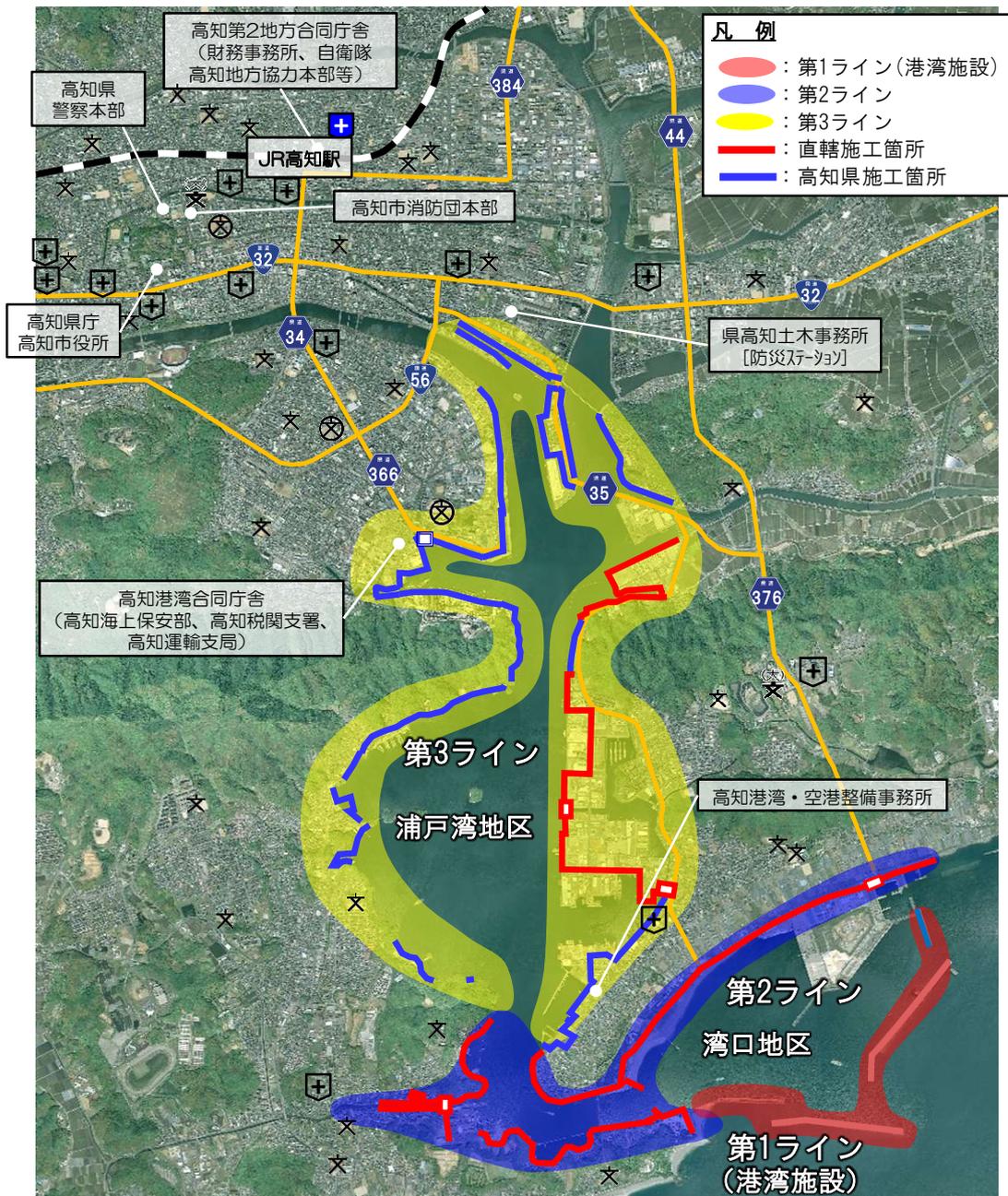


図-3 高知港海岸における三重防護のイメージ

⑤ 追加する施設の規模及び配置

津波災害を防止するために必要な主要施設である津波防波堤の計画の規模及び配置は次のとおりである。

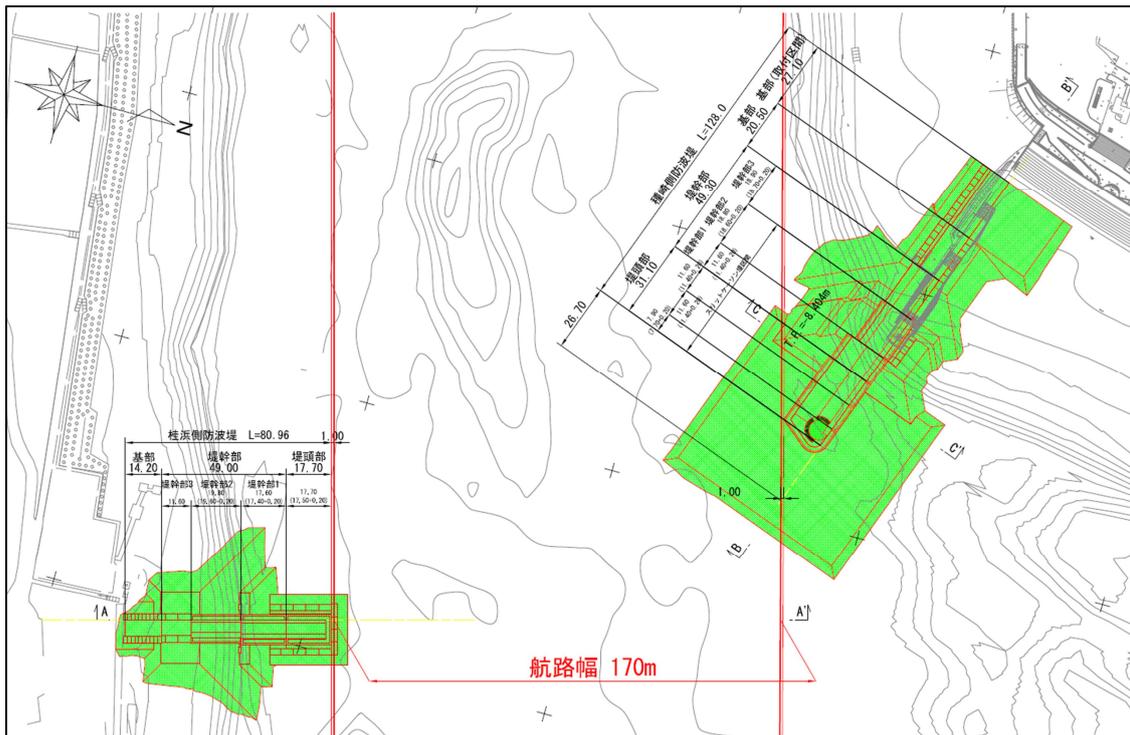


図-4 津波防波堤（第2ライン）計画平面図

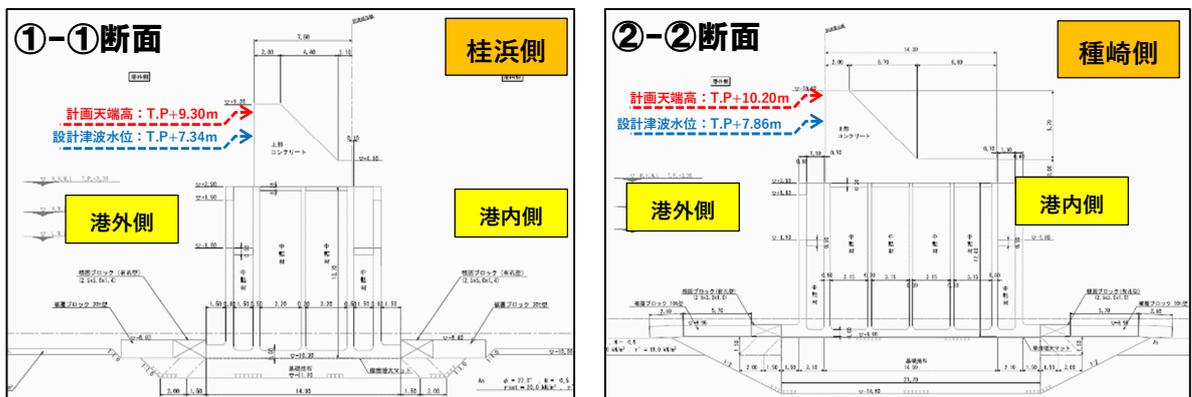


図-5 津波防波堤（第2ライン）断面図

表-2 追加する施設の規模等

地区	名称	延長(m)	構造形式	備考
種崎	種崎津波防波堤	128	重力式防波堤	新規計画
桂浜	桂浜津波防波堤	81	重力式防波堤	新規計画

## ⑥ 航行船舶への影響

津波防波堤の新設後においても、港湾計画の航路幅員と航路の可航幅に変化はなく、船舶の航行に必要な幅員は確保されている。

航行時の視認性については、防波堤背後の見通しにやや死角が生じるものの、航行時の安全性を損ねるまでの影響はない。

また、津波防波堤には、夜間に存在を示すための標識灯が設置される。

このため、津波防波堤付近を航行する船舶は、特別な運用を定めることなく、港則法に基づく管制信号や各種航法を遵守することにより、従来と同様、安全に航行することができる。



図-6 防波堤整備後における視認性の予測（入港時）



図-7 防波堤整備後における視認性の予測（出港時）

## 環境の保全に関する資料

### 1 大気質への影響と評価

今回の計画変更による大気質への新たな負荷量はほとんどないことから、影響は軽微であると考えられる。

### 2 騒音・振動への影響と評価

今回の計画変更による騒音・振動への新たな負荷量はほとんどないことから、影響は軽微であると考えられる。

### 3 水質・底質への影響と評価

今回の計画変更による水質・底質への新たな負荷量はほとんどないことから、影響は軽微であると考えられる。

### 4 生態系の影響と評価

今回の計画変更による大気質、騒音・振動、潮流、水質・底質への影響は軽微であることから、生態系への影響は軽微であると考えられる。

### 5 総合評価

今回の計画変更に伴う計画地周辺の環境に及ぼす影響について検討した結果、その影響は軽微であると考えられる。

なお、今後とも環境保全について十分配慮するとともに、本計画の実施にあたっては、工法、工期等について検討し、十分な監視体制のもとに環境に与える影響を極力少なくするよう慎重に行うものとする。

## その他の資料

### 1 高知県地方港湾審議会委員名簿

令和5年1月30日

区 分	職 名	氏 名
学識経験を 有する者 (1号4名)	高知工業高等専門学校 名誉教授	いけや えりこ 池谷 江里子
	高知大学 教育学部 教授	こじま きょうこ 小島 郷子
	高知工科大学 経済・マネジメント学群 教授 社会マネジメントシステム研究センター長	な す せいご 那須 清吾
	高知大学 教育研究部 自然科学系理工学部門 教授 防災推進センター 副センター長	はら ただし 原 忠
港湾関係者 (2号5名)	高知県海運組合 理事長	のむら ひさお 野村 久雄
	高知港運協会 会長	とくひら ゆたか 徳平 豊
	公益社団法人 関西小型船安全協会 高知県支部長	なかむら たかし 中村 隆
	高知県漁協女性部連合協議会 会長	はまの ようこ 濱野 洋子
	高知県工業会 会長	やまさき みちお 山崎 道夫
国の地方行政 機関の職員 (3号4名)	国土交通省 四国地方整備局長	あらせ よしかず 荒瀬 美和
	国土交通省 四国運輸局 交通政策部長	く ぼ まさひろ 久保 雅寛
	高知海上保安部長	おおい りょうじ 大井 良司
	高知税関支署長	ふるや ひろのり 古谷 博典
地元市町村を 代表する者 (4号3名)	高知市長	おかざき せいや 岡崎 誠也
	須崎市長	くすのせ こうさく 楠瀬 耕作
	宿毛市長	なかひら とみひろ 中平 富宏
知事が必要と 認める者 (5号1名)	高知商工会議所 会頭	にしやま しょういち 西山 彰一